

会議結果報告書

1 会議名	平成 30 年度第 1 回環境指導員地区会議（小出地区）
2 日時	平成 30 年 5 月 31 日（木）14：00～15：30
3 場所	小出地区コミュニティーセンター 第 1 会議室
4 出席者	（資源循環課）原田副主査、永井主任 （環境事業センター）小川所長補佐、和田主事、石井技能労務統括主査、森川技能労務統括主査、小川技能労務統括主査 （小出地区）参加人数：18 人
5 内容	<p>本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <p>●剪定枝の資源化はいつ始めるのか。具体的な検討スケジュールを示してもらいたい。 →検討段階のため、時期等は未定である。今後、どのくらいお金がかかるか、量はどのくらいなのか、効果はどれくらいか検証していく。</p> <p>●資源化可能なプラ、紙がごみとして排出されているとの事だが、具体的にどのようなものが捨てられてしまっているのか。 →資料 2－3 のイラストに書かれた、資源物やプラスチック製容器包装類がごみとして排出されてしまっている。</p> <p>●そのことについて、いつ市は周知しているのか。 →これまで作成していた「ごみと資源物の分け方・出し方」に加え、今回新たにチラシを作成した。こちらの内容についても今後、市民の皆様に周知していきたい。</p> <p>●全戸配布はできないのか。 →全戸配布は予算の都合で行っていないが、工夫をしながら啓発に努めていく。</p> <p>●ごみ処理経費について、他市はどのくらいかかっているのか。 →各市でごみ処理の品目が異なっていることなどから、一概に比較はできないが、鎌倉市 19,339 円、藤沢市 14,972 円、逗子市 15,102 円、大和市 12,763 円である。</p> <p>●逗子市では有料化に伴いごみが大幅に削減されているが、信じがたい。 →逗子市は有料化に伴って、資源化の対象も見直しているため、ごみの減少が顕著に出ている。</p> <p>●ごみ処理経費の本市導入シュミレーションについて、全人口で割り返すよりは、世代別や所得別に算出するなど工夫が必要かと思う。 →おっしゃるとおりかと思う。さらに精密なものになるよう努める。</p> <p>●資源ごみの排出量に応じて自治会に補助金が交付されているのは本当か。</p>

→市のHPに掲載した上で実施している。

●今回の啓発チラシ（カラー）はとてもわかりやすい。全戸配布が難しい場合、回覧はできないか。

→検討させていただく。

●不法投棄の処理経費はどれぐらいかかっているのか。すぐに回収してくれないか。有料化に伴い懸念される。

→有料化にともない、パトロール等強化して行くことになる。経費は市全体で 4,600 万から 5,000 万円程度となっている。

以上